

第30回定期景況調査

(2019年7～9月期)

2019年9月

名古屋商工会議所

会員企業の景況 (今期：2019年7～9月, 前期：2019年4～6月, 来期：2019年10～12月)

業況DI

○業況DI（全産業）は、前期▲4.7から今期▲2.7と、マイナス幅を縮小した。

売上DIが前期▲5.3から今期▲1.6とマイナス幅を縮小し、採算DIも前期▲14.0から今期▲9.4とマイナス幅を縮小したことから、業況DI（全産業）はマイナス幅を縮小した。

○業種別では、

- ・製造業は、前期▲4.0から今期▲15.2と、マイナス幅を大幅に拡大した。
- ・建設業は、前期2.3から今期16.5と、プラス幅を大幅に拡大した。
- ・サービス業は、前期2.2から今期6.2と、プラス幅を拡大した。
- ・卸売業は、前期▲22.9から今期▲22.8と、マイナス幅を縮小した。
- ・小売業は、前期▲20.7から今期0.0と、マイナス幅を大幅に縮小した。

○業況DI（全産業）の先行きは、今期▲2.7から来期▲6.2と、マイナス幅を拡大する見通し。

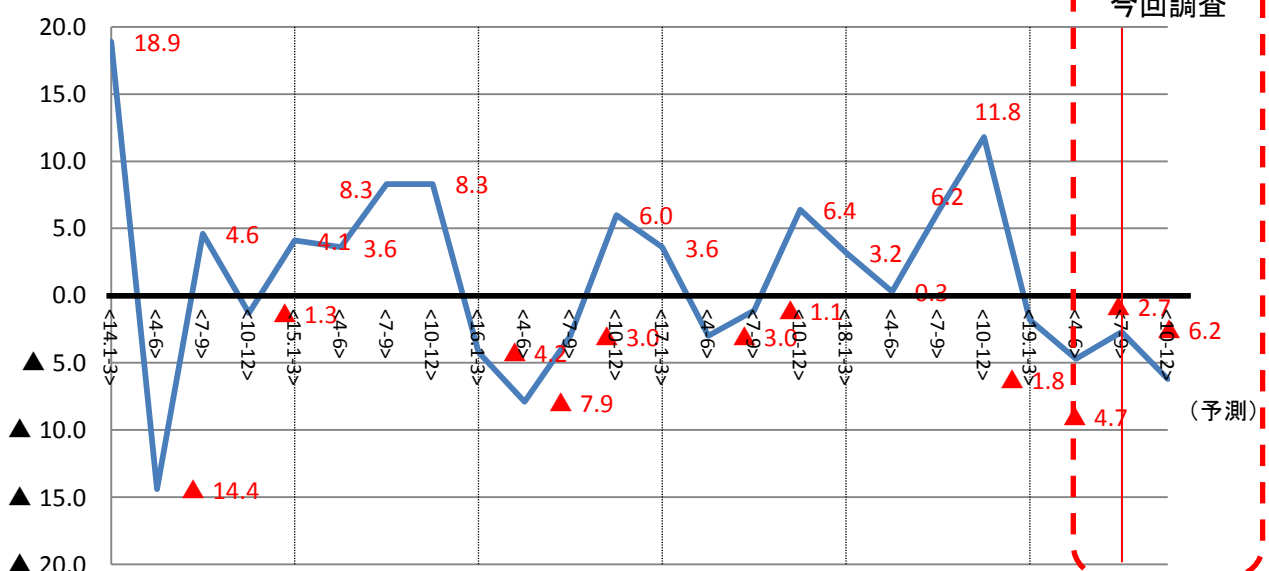
採算DIおよび資金繰りDIがマイナス幅を拡大する見通しであるとともに、業況DIにおいて、建設業はプラス幅を縮小、サービス業はマイナスに転じ、卸売業、小売業はマイナス幅を拡大する見通しであることから、全産業ではマイナス幅を拡大する見通しである。

《業況DIの推移》

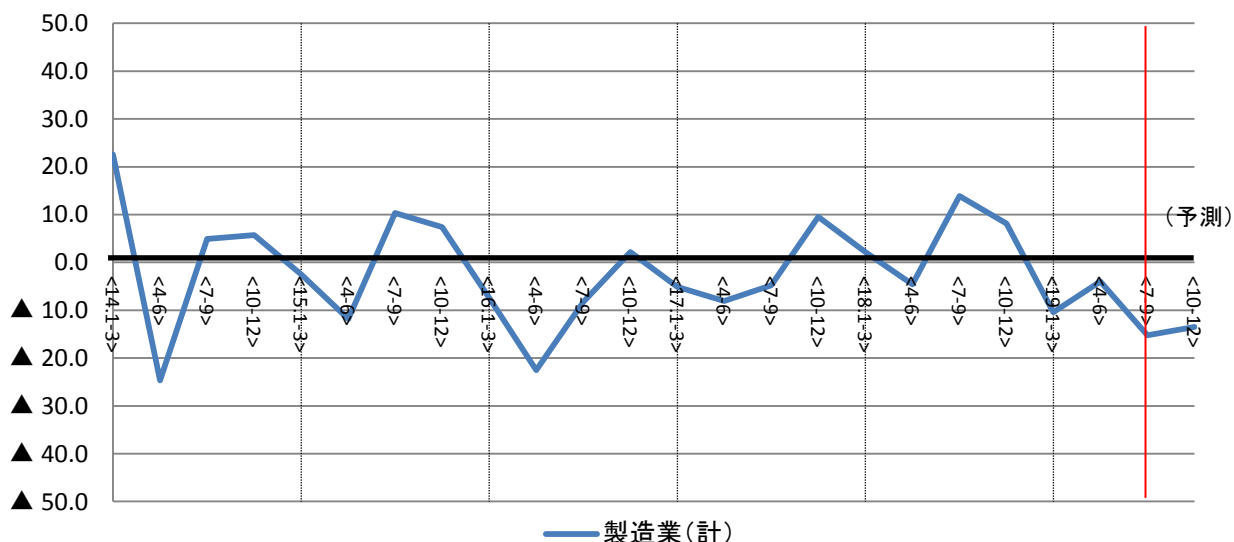
(「好転」-「悪化」・%ポイント)

	2018.7-9	10-12	2019.1-3	4-6	7-9	10-12
全産業	6.2	11.8	▲1.8	▲4.7	▲2.7	▲6.2
製造業	13.9	8.1	▲10.4	▲4.0	▲15.2	▲13.5
非製造業	3.0	13.3	1.6	▲4.9	1.7	▲3.7
建設業	▲4.6	5.9	3.8	2.3	16.5	0.0
サービス業	5.5	11.7	4.3	2.2	6.2	▲1.3
卸売業	4.8	23.1	▲6.5	▲22.9	▲22.8	▲20.3
小売業	▲8.7	13.1	▲16.0	▲20.7	0.0	▲25.8

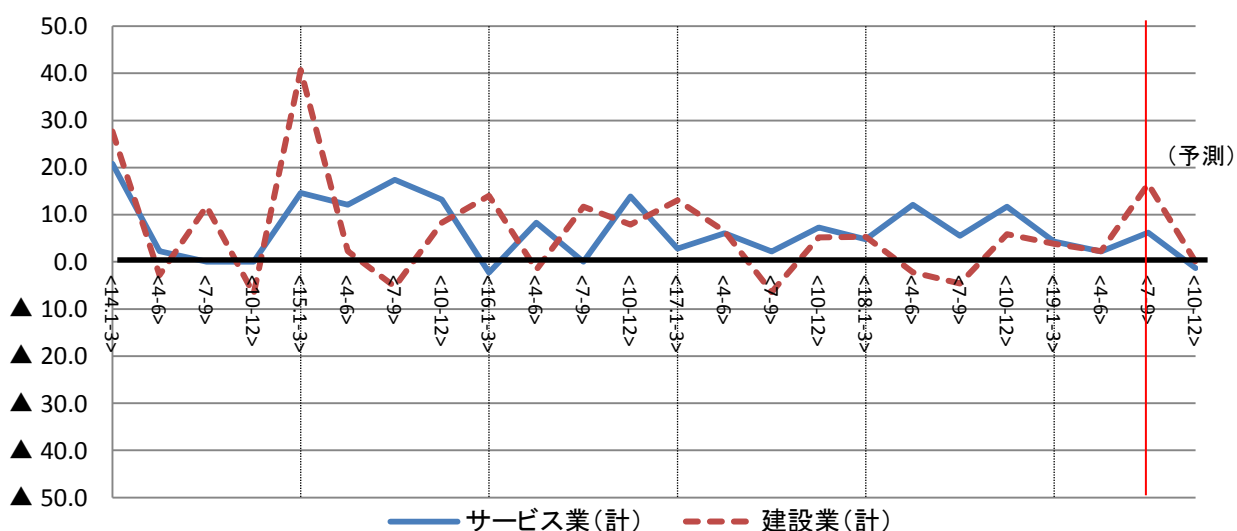
《全産業業況DIの推移》



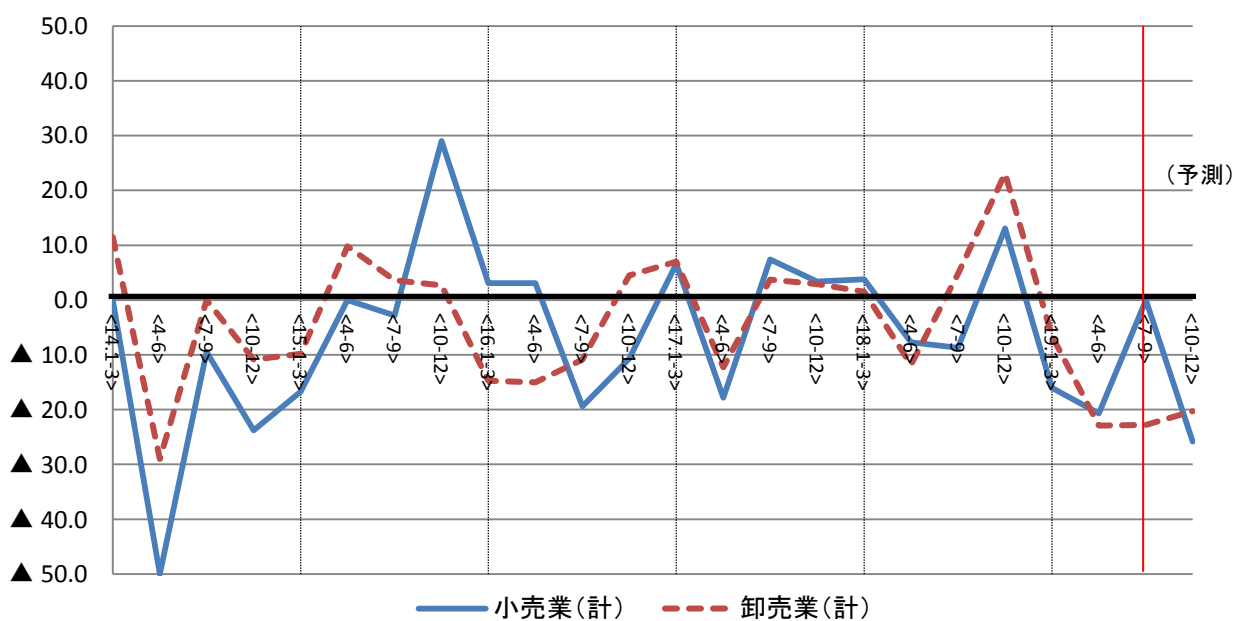
《製造業 業況DIの推移》



《非製造業①(建設業・サービス業) 業況DIの推移》



《非製造業②(卸売業・小売業) 業況DIの推移》



売上DI

売上DIは、前期▲5.3→今期▲1.6→来期▲1.3と、今期、来期ともマイナス幅を縮小する見通し。

《売上DIの推移》

(「増加」-「減少」・%ポイント)

	2018.7-9	10-12	2019.1-3	4-6	7-9	10-12
全産業	9.8	17.2	3.0	▲ 5.3	▲ 1.6	▲ 1.3
製造業	21.5	12.6	▲ 8.1	▲ 5.6	▲ 8.9	▲ 2.8
非製造業	5.0	18.9	7.2	▲ 5.3	1.0	▲ 0.8
建設業	▲ 16.7	2.0	7.6	▲ 7.2	10.4	3.0
卸売業	4.8	37.0	▲ 8.1	▲ 25.0	▲ 21.4	▲ 20.0
小売業	4.3	26.1	▲ 4.0	▲ 6.9	▲ 6.3	▲ 12.5
サービス業	11.7	14.1	8.1	3.6	4.4	▲ 1.9

仕入単価DI

仕入単価DIは、前期33.7→今期25.5→来期31.1と、今期はプラス幅を縮小し、来期はプラス幅を拡大する見通し。

《仕入単価DIの推移》

(「上昇」-「下落」・%ポイント)

	2018.7-9	10-12	2019.1-3	4-6	7-9	10-12
全産業	38.5	37.8	37.8	33.7	25.5	31.1
製造業	57.8	50.0	52.1	41.9	32.2	35.0
非製造業	30.5	32.9	32.1	30.3	23.2	29.7
建設業	37.2	41.2	48.1	46.4	30.3	39.4
卸売業	39.4	36.0	33.3	24.6	24.3	31.4
小売業	34.8	30.5	50.0	37.9	27.6	34.5
サービス業	27.2	29.3	21.9	23.2	19.8	25.1

採算DI

採算DIは、前期▲14.0→今期▲9.4→来期▲14.7と、今期はマイナス幅を縮小し、来期はマイナス幅を拡大する見通し。

《採算DIの推移》

(「好転」-「悪化」・%ポイント)

	2018.7-9	10-12	2019.1-3	4-6	7-9	10-12
全産業	▲ 5.3	4.5	▲ 9.5	▲ 14.0	▲ 9.4	▲ 14.7
製造業	▲ 3.4	▲ 3.4	▲ 17.6	▲ 16.0	▲ 22.2	▲ 18.9
非製造業	▲ 6.1	7.5	▲ 6.3	▲ 13.2	▲ 4.9	▲ 13.1
建設業	▲ 2.4	▲ 6.0	▲ 7.7	▲ 4.8	7.5	▲ 13.5
卸売業	▲ 6.5	23.5	▲ 17.8	▲ 31.6	▲ 31.5	▲ 24.3
小売業	▲ 17.4	8.7	▲ 16.0	▲ 28.6	▲ 13.3	▲ 38.7
サービス業	▲ 6.3	5.9	▲ 7.4	▲ 5.1	▲ 1.9	▲ 12.8

従業員DI

従業員DIは、前期24.5→今期25.6→来期26.3と、今期、来期ともプラス幅を拡大する見通し。

《従業員DIの推移》

(「不足」-「過剰」・%ポイント)

	2018.7-9	10-12	2019.1-3	4-6	7-9	10-12
全産業	23.8	32.1	30.5	24.5	25.6	26.3
製造業	24.0	33.3	23.5	17.5	22.5	24.0
非製造業	23.7	31.6	33.1	27.4	26.7	27.2
建設業	30.9	47.0	50.0	45.2	43.3	47.8
卸売業	12.7	18.7	25.4	23.0	18.3	17.1
小売業	30.4	13.1	12.0	10.3	9.7	6.5
サービス業	28.9	32.0	34.6	29.0	29.7	31.0

資金繰りDI

資金繰りDIは、前期▲4.5→今期▲5.1→来期▲7.5と、今期、来期ともマイナス幅を拡大する見通し。

《資金繰りDIの推移》

(「好転」-「悪化」・%ポイント)

	2018.7-9	10-12	2019.1-3	4-6	7-9	10-12
全産業	▲ 0.5	▲ 2.4	▲ 4.5	▲ 4.5	▲ 5.1	▲ 7.5
製造業	5.8	▲ 6.5	▲ 6.4	▲ 0.8	▲ 9.6	▲ 17.3
非製造業	▲ 3.0	▲ 0.6	▲ 3.8	▲ 6.0	▲ 3.5	▲ 4.0
建設業	▲ 14.0	▲ 2.0	1.9	▲ 2.4	▲ 1.5	▲ 1.5
卸売業	▲ 1.6	4.7	▲ 9.5	▲ 6.7	▲ 10.2	▲ 20.3
小売業	▲ 21.8	▲ 4.3	▲ 8.0	▲ 7.2	▲ 3.1	3.1
サービス業	0.8	▲ 3.0	▲ 5.2	▲ 3.7	▲ 2.5	▲ 3.2

【調査概要】

◎目的

会員企業の景況を早期かつ的確に把握するために、会員企業を対象に「定期景況調査」を年4回(6月, 9月, 12月, 3月)実施する。第30回の調査概要は下記のとおり。

◎調査時期 2019年8月26日～9月20日

◎方法 Webを使ったアンケート調査, HP, メール等で依頼・回収

◎対象 会員事業所

◎回答状況 回答企業 563社

◎回答企業の内訳

【業種】

製造業	148社	26.3%
建設業	67社	11.9%
卸売業	71社	12.6%
小売業	33社	5.9%
サービス業	161社	28.6%
その他	83社	14.7%

【規模】

～20人	294社	52.2%
21～50人	91社	16.2%
51～100人	47社	8.3%
101～300人	47社	8.3%
301～500人	18社	3.2%
501～1,000人	19社	3.4%
1,001～3,000人	25社	4.4%
3,001人以上	22社	3.9%

※ すべての質問について、割合は四捨五入を行っているため、必ずしも合計が100.0%にならない。